

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	1	事業名	社会资本整備総合交付金事業 北九十九里～一宮海岸 高潮対策事業		路線又は箇所名等		九十九里浜 (飯岡漁港～太東漁港)		
事業所管課		河川整備課			事業主体		千葉県		
事業化年 度	令和3年度		用地着手 年度	一	工事着手年度 工事終了年度	令和3年度 令和22年度	再評価の 理由	再評価	
費用便益比 B/C	3.5 (一)	総費用	371億円 (一)	総便益	1,283億円 (一)	基準年	令和 7年	供用開始 年度	令和 28年度

※上段：全体事業費 下段()：残事業費

【事業概要】

(目的)

本事業は、2011年年の東北地方太平洋沖地震津波後の復興事業で整備した土堤を、コンクリート被覆することにより堤防機能の強化を図るものである。

これにより、既存の堤防を超える津波に対しても、堤防が破壊するまでの時間をかせぎ、全壊に至る可能性や時間を遅延させることで、浸水被害の軽減や住民避難の手助けとなるものである。

(主な事業内容)

既設土堤のコンクリート被覆：延長約12km

【事業の進捗状況】(令和7年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全 体	107.0	8.9	98.1	8.3

【社会経済情勢等】

① 海岸及び背後地状況

海岸は年間数十万人が海水浴やイベントなどで砂浜を利用しておおり、県のブランド水産物認定品である「九十九里地はまぐり」の漁獲もあり、漁業活動の場としても利用されている。また、海岸背後には、南部は九十九里有料道路、北側は九十九里ビーチラインがあり、その背後には宅地や事業所、農地などの人口・資産が集積しており、設計津波を超える津波が襲来した場合の浸水被害、社会的影響が極めて大きい。

② 主な被害状況

- 平成23年3月(東北地方太平洋沖地震津波) 銚子市～いすみ市 浸水被害

③ 投資効果 [裸書：全体事業、()：残事業]

- 家屋被害 287.8億円
- 家庭用品被害 112.6億円
- 事務所資産被害 34.2億円
- 農漁家資産被害 2.2億円
- 農作物・農地資産被害 30.7億円
- 公共土木施設・公益事業等被害 813.3億円

④ その他(関連事業)

(関連事業)

- 九十九里浜浸食対策
- (地域の協力体制)

【対応方針(案)】

全体事業の費用対効果(B/C)は3.5であり、事業の投資効果が見込めること、また、今後も地域の発展が見込まれ、地元からの要望が大きく、事業の進捗も見込まれることから、事業を「継続」する。

【別紙様式4】

事業概要図					
番号	2	事業名	社会资本整備総合交付金事業 北九十九里～一宮海岸 高潮対策事業	路線又は箇所名等	九十九里浜 (飯岡漁港～太東漁港)
計画平面図					
事業範囲 (北九十九里～一宮海岸) 九十九里海岸 北九十九里地区 九十九里海岸 南九十九里地区 					
位置図 					
代表断面図					

【別紙様式5】

再評価事業に関する調書

番号	1	事業名	社会資本整備総合交付金事業 北九十九里～一宮海岸 高潮対策事業	路線又は箇所名等	九十九里浜 (飯岡漁港～太東漁港)
事業化年度	令和3年度	用地着手年度	—	工事着手年度	令和3年度

【事前評価(令和2年度)の概要】

事前評価実施年度 (基準年)	令和2年度	供用開始年度	令和13年度	対応方針	継続
B／C	3.1 [－]	総費用	340億円 [－億円]	総便益	1,055億円 [－億円]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

(※総費用には前身の復興事業費を含む)

事前評価時の委員会の意見及び当時の状況

○継続することが妥当である。

事前評価時の進捗状況

	計画	進捗状況(令和3年度)
事業費	107.0億円	0.0億円(0.0%)

(※高潮対策事業費)

【再評価(令和7年度)の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和7年度	供用開始年度	令和23年度	対応方針	継続
B／C	3.5 [－]	総費用	371億円 [－]	総便益	1,283億円 [－]

(※上段：全体事業、下段：[]：残事業)

(※総費用には前身の復興事業費を含む)

現在の進捗状況

	計画	進捗状況(令和7年度)
事業費	107.0億円	8.9億円(8.3%)

(※高潮対策事業費)

再評価後の
経過
及び
処理状況令和3年1月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 事前評価
(事業着手が妥当である)